

(縁・円・援)

兵庫えんだより



このニュースレターは、市町社協の生活支援コーディネーター、住民等が創意工夫しながら行われている生活支援、地域活動をお伝えするために発行いたします。

「知識・技術・価値」そして「人としてどうあるべきか」

～令和3年度 フォローアップセミナーでさらに振り返る～

令和3年度のフォローアップセミナーが3月8日にオンラインで開催されました。今年度の生活支援CO養成研修は、兵庫県立大学の竹端先生から一年を通して、生活支援COとしての「知識・技術・価値倫理」だけでなく、「人としてどうあるべきか」という本質を学ぶことができました。この学びは、地域住民、包括支援CO、行政、自分の組織等とのかかわりの基本であり、「対話」し、学び続けたいといけないうものでもありました。

えんがわナビ等 ……「孤立」「不安」「もやもや」が明確になる

基礎セミナー ……新人がいかに元気になっていったか

実践セミナー ……ベテランがいかに「もやもや」に向き合っているか

フォローアップセミナー ……「対話」「内省」を通して「振り返る」



(兵庫県立大学 竹端先生)

人も地域も多様だからこそ、生活支援COはつながっていく

地域には多様な人生を送り、さまざまな価値観やこれからの生き方への思いを持った人たちが待っています。だからこそ、生活支援COは、制度の知識やテキストで学ぶ技術だけでなく、人と地域の理解を深めるために互いにつながりあい、知恵を出し合い、切磋琢磨する必要があるのです。



そして、「コロナ禍」。だれもが経験したことないつながりの危機

混乱期

移行期

新たな地域生活へ
長期展望期

不安だわ…。



こんな時だからこそ**対話**



【発行元】(令和4年4月25日発行)
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号
兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部
TEL 078-242-4634 FAX 078-242-0297
E-Mail: chiiki-2@hyogo-wel.or.jp (担当: 小山・永坂)

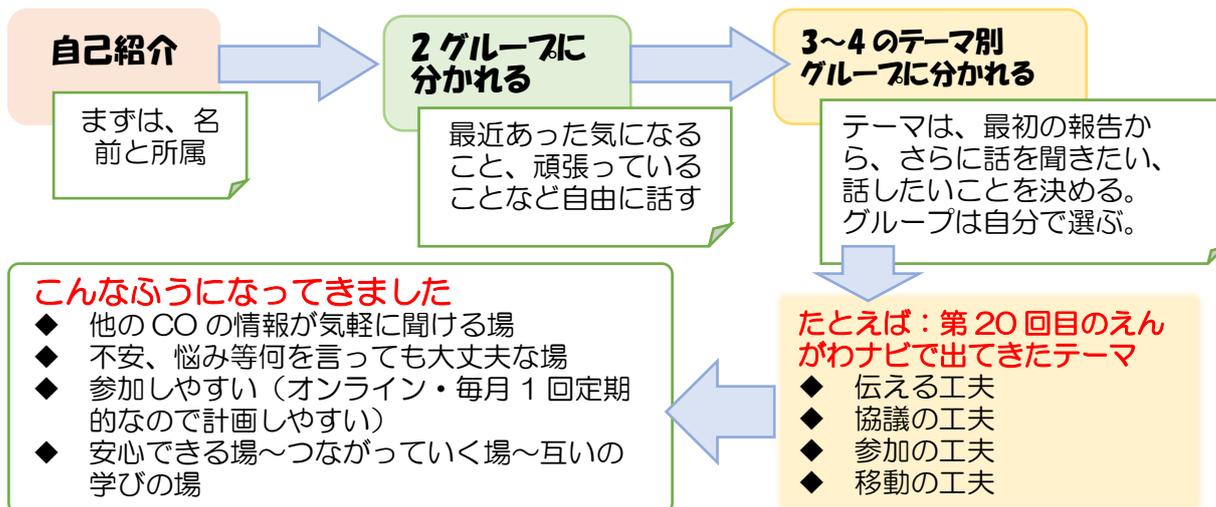
県内の生活支援 CO のつながりづくりのひとつ

第 20 回を迎えた「兵庫えんがわナビ」(オンライン型生活支援 CO 情報交換会)

兵庫えんがわナビに込めた思い：地域づくりのゴールは遠い。時には迷い、悩んで止まることも。だからこそ、一人ではなく、仲間と一緒に進んでいきたい。こんな願いを込めました。縁側に座って話すように、気軽に話せる場があっちこっちにできればよいと考えています。



「えんがわナビ」の進め方



毎月 24 日 15 時から開催しています。お気軽にご参加してください。



こんなことがありました！

生活支援 CO がつながって、隊長、地域を超えて先生になる

高齢者の買い物や通院等の移動の困りごとはどこでも深刻になっています。多可町と加西市の生活支援 CO は「えんがわナビ」や研修で知り合い、お互いに情報交換や視察を行いました。その後、移動支援の活動を始めた加西市の「はつらツツアー」の隊長が多可町の住民等約 40 人の前で講演を行います。すると、最初は、行政や社協が中心にするものと思われていた多可町の住民から加西市の隊長に次々と質問が出ます。その結果、住民が主体の活動につながりそうな機運が盛り上がってきたそうです。加西市の隊長も「こんな機会があったうれしかった。もっと頑張れそう」と。CO のつながりが住民同士の学びとやる気にもつながっていました。



【編集後記】この一年は、コロナ禍で活動が自粛になりつつも、あっちこっちで住民の工夫された動きが芽生えていました。新たな生活様式を迎える今だからこそ、専門職として、さらに学びを深める時だと感じました。それは、地域の中で起きていることを知り、住民と各関係機関と対話し、お互いに知恵を出しながら、良いところも苦手なところも認め合いながらこれからのことを考える時期だと思えます。